

## 平成 30 年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 近代美術館

評価基準 (達成度)	達成 (目標値 $\geq$ 100%)	○
	ほぼ達成 (目標値 $\geq$ 80%)	△
	未達 (目標値 $<$ 80%)	×

### ○全館共通項目

		取組の内容		自己点検		
		1年間の目標値	実現方策	達成値	達成度	課題・対応の方向
利用状況	利用者満足度	90%	アンケートに示された意見を活用して改善を行う	89.6%	△	展覧会の内容と解説への評価を高める工夫を行う。
	入館者	103,385人	広報に努め一層の集客を図る	141,150人	○	障がいのある方等も含め引き続き入館者の増加に努めていく。
	教育・普及事業への参加者	増加させる (前年度) 3,621人	ニーズを汲み充実を図る	8,669人	○	ワークショップの参加方法を多様化し、引き続き教育・普及事業への参加者増加に努めていく。
	Twitterアクセス	増加させる (前年度) 533,453件	改修したホームページを活用して訪問者のニーズに応える	735,824件	○	即時性を高めつつ、引き続き訪問者数を増加させ、ニーズに応えられるように努めていく。
資料・収蔵品	活用	増加させる  (前年度) 332点  25件 22件 37件  416件	県民共有の財産との観点から有効活用に努める  館内展示利用数  特別利用許可申請数  館外貸出件  画像貸出件数  計	  286点  33件 15件 37件  371件	△	他の美術館や企業との連携を深めるほか、デジタルアーカイブの充実により、収蔵品の更なる活用に努めていく。
	維持管理	美術作品の保存に適正な環境を維持	PFI事業者による保存環境の維持履行を求め、職員として適正な取扱いを実施	ほぼ達成	△	業務計画書で定めた要求水準書において、一部改善を要する点があることから、PFI事業者への働きかけを強めていく。



	自己研鑽及び他館の研究	(記述式) 積極的に 積極的 研修に 加させ るとも 他館と の情報 交換・ 共有に 有益な 等への 増加を 増やす	職員の研 修の機 会をつ くり、 専門分 野を磨 く。自 分達を 客観視 してヒ ントを 得るた め、他 館をリ サーチ して学 び、館 運営を 省みる。	会議等参 加件数 前年度： 21回  平成30年 度：31回	○	国内外の美術館との情報交換・共有のため、前年度よりも積極的に会議へ参加した。引き続き積極的な情報交換・共有に努めていく。
--	-------------	---	---	--	---	--

注) 各論は各館独自の取組みを中心に評価項目や指標を設定する。